

元気・お役立ち便り

No.1

〒699-1221 雲南市大東町飯田 5 3 - 4 大島健作

【はじめに】この便りは私が今までに出会った方、これから出会う方、お知り合いご近所の方にお渡しして、何かのお役立ちになることを願い作りました。文章が主体でデザイン性はありません。お時間のある時に読んで頂きますと大変に喜びます。どうぞ宜しくお願いします。

【元気の意味とは何ですか？】と問われると、健康や勢いなどが浮かびますが、7年前にある方から「元」は神様のような天地創造の存在で、その方の意志が「気」だと教えてもらいました。つまり「元気」は使命や志などの奥深い意味があると知り驚きました。そんなことも知らず、平成18年から毎日「元気便り」というブログを書いています。元気の意味を胸にしっかり刻んで日々を過ごしたいと思う今日この頃です。

【お役立ち】は日本特有の美しくて尊い言葉です。人に世の中に何かの役に立つと気持が良くて幸せ感に浸り、自信や希望や勇気や自分は自分でいいんだという自己肯定感も生まれます。多くの企業や会社やお店がこのお役立ちを指針にしておられるのではないかと推測します。

そんな情報を耳にしたのか分かりませんが、9年前に「お役立ち屋」という名前を作りました。屋は酒屋や米屋など昔から使われ、今もなお、この言葉が残っています。屋には愛着を感じます。そうしたことから、「お役立ち屋」となったのですが、商標などは取得していないので、宜しかったらお使い下さい。広告・ニュースレター・名刺等に書かれたら面白いと思います。代表の代わりに「お役立ち屋」いかがでしょうか。

そんな「元気」と「お役立ち」はお互いに関連（リンク）して、良い影響を相互に与え合って、良き物が生まれるのではないかと考えました。

さて、私は言葉を作ることが好きでお役立ちの様々な物を紹介します。

「お役立ち屋」 よく聞く便利屋とは考え方や方向性が違います。果たしてこれから何が出来るのか、まずは名前を知ってもらいたいと願っています。

「お役立ちカード」（夢バージョン幸せバージョン各1枚で100円です）

夢バージョン 「夢が実現する可能性があるからこそ、人生はおもしろい」 他

幸せバージョン 「淡々と過ぎていく普通の毎日が幸せの本質です」 他

「お役立ちレター」 激安でお店や会社の特長・取組み・商品などを地域の皆様にお知らせする仕組です。まだ実績ゼロですが、全国に広げたいと意気込んでいます。ハガキ片面モノクロ48文字、費用1000円です。（興味ありましたらお問合せ下さい。資料を無料で送ります）

「元気・お役立ちサポートセンター」を作りたいです！

- ・ 困りごと相談、悩み解決（例 スマホ操作方法の指導、冠婚葬祭他）
- ・ シニアの方と若者（学生さんや生徒さん含む）の交流、学びの場
- ・ 催し事やイベント、セミナー、勉強会、情報交換会などの活用
- ・ お手軽オフィスとして活用 1日1000円 1ヶ月1万円
（冷暖房完備、駐車場有、複合コピー機有、ネット環境完備）
- ・ 起業相談、起業支援、仲間作り、いきがい作り、楽しみ作り 他
- ・ 事業発展、商売繁盛 などのサポート、応援

まだ、構想段階で内容も場所もこれからです。クラウドファンディングで資金を集めて実現する方法もあります。地域に、人に、そして自分に役立つセンターを一緒に作りませんか！ご連絡お待ちしております。

【夢発表会】

夢を持っている人は少ないと言われます。夢より現実！ならば夢を見ながら現実を生きる、でもいいと思います。私は70代のおじさんなのに様々な夢があります。私にとって夢は生きる力であり希望です。私は12年前に神戸で開催されたドリプラという夢発表会にエントリーしたことがあります、今回の私の取組は気軽な夢発表会で、1月に続いて2回目の開催、以下内容です。

○と き 令和6年7月21日（日）

○時 間 午前10時～12時（受付9時半より）

○ところ 大東交流センター 0854-43-2270 大東町大東2419-1

○参加費 大人100円 高校生以下無料

○申 込 要りません。突然来られてもいいです。

○発表される方は内容を事前に考えてきて下さい。

発表時間は10分まで、映像の準備はしません。

※参加された方にお役立ちカードを進呈します。

※上記内容で年2回開催します。令和7年1月19日（日）開催予定。

【夢を達成する方法】の1つに夢を書いてみる、唱えてみる、というのがあります。私は毎朝ワンの散歩の時に「〇〇ができてありがとうございます」と唱えています。〇〇は5つ位あって、唱えると達成できたという良い意味での勘違いになります。もしも夢が達成できたら、どんなに素晴らしいなあと思う今日この頃です。なお、私が毎日書いている元気便りの最後はこの言葉になっていますが、2つのサイトから読むことが出来ます。また、フェイスブックにも同じ内容で載せています。

【雲南元気学校】は12年前の夢発表会にエントリーした時に作った言葉です。翌年から2年間講演会等をこの名前で主催しましたが、その後は休止状態で今年より再開しています。今のところ名前だけがある状態で実績は少ないですが、今後に期待したいと思う今日この頃です。

【まずは身近な家庭・地域・職場などでお役立ち】の意識を持つと、何かが変わるかもしれないと考えました。日々の生活で日常していることを「当たり前」から「お役立ち」に替えてみるのです。朝起きてトイレに行くことも、ご飯を食べることも、すべての毎日の出来事をお役立ちと捉えると心が元気になるかもしれません。

大島健作の自己紹介（ハガキ名刺） 令和6年7月17日現在

【私の展望】の1つは、ハガキ名刺を有効活用することでお店や会社や個人がより元気に良くなるのが認められて、全国各地で多くの方が積極的に実践されその効果などを情報共有する勉強会も生まれるお役立ち展開です。

【ハガキ名刺は】私が作った言葉です。通常の名刺に比較してハガキは紙面も広く、プロフィール他様々な情報を入れることにより、相手の方と親しくなれる効果などが得られます。詳しくは研究会サイトにて。

【大島健作 ミニプロフィール】昭和28年生まれ71歳。前職の建材店で多くの情報誌や冊子を発行。店消失後はフリーターとなり様々な職業を経験中で、「お金をかけずに自分で作るニュースレター」で、お店や会社が発展するお手伝いをしたいと意気込んでいます。現在はゴルフ練習場とコンビニで働いています。

【終わりに】この便りは私の今後の展望を載せているニュースレターで夢や志が実現する1つの手法を実証したいと願う今日この頃です。

雲南元気学校

お役立ち屋

題字 しもやん
(下川浩二氏)

発行者 大島健作

kensaku.ohshima@gmail.com

令和6年7月17日発行 699-1221 雲南市大東町飯田53-4

携帯 090-8996-0850



元気ニュースレター研究会

幸せを呼ぶおひさまショップ



(この便りはコピー自由で、研究会サイトの情報館から印刷もできます。)